

令和 6 年 6 月 23 日現在

機関番号：23803

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2023

課題番号：17K18179

研究課題名（和文）東南アジアにおけるイスラーム法学派の歴史的形成と地域間交流

研究課題名（英文）The Formation of Islamic Legal Schools through Interactions between Southeast Asia and other Regions

研究代表者

塩崎 悠輝（Shiozaki, Yuki）

静岡県立大学・国際関係学部・准教授

研究者番号：00609521

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、2017年度から2023年度まで、東南アジアにおけるイスラーム法学派が15世紀から20世紀まで歴史的に形成されていく過程で、他の地域との交流がどのように影響してきたのかを研究した。

具体的には、インドネシア、マレーシア、シンガポールといった東南アジア諸国で資料収集と現地調査を行い、イスラーム学者らの中東および南アジアへの移動と留学が、東南アジアのイスラーム法学に及ぼした影響について調査した。

本研究では、ミャンマーを中心に南アジアと東南アジアを横断して歴史的に移動してきたロヒンギャのイスラーム学者も調査の対象となった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、東南アジアや中東、南アジアのイスラーム法学およびスーフィズムに関わる資料を収集し、読解、分析することで、地域を横断したイスラーム学者のネットワークの詳細を明らかにしてきた。

歴史を通して、地域を横断した師弟関係やテキスト間の影響が、東南アジアのイスラーム法学やスーフィズムなどの思想を発展させてきた過程を明らかにし、その研究成果は、日本語および英語の論文、著書、国内国外での学術会議で発表されてきた。

研究成果の概要（英文）：From 2017 to 2023, this study investigated the historical formation of the Islamic school of jurisprudence in Southeast Asia from the 15th to the 20th century. Especially, interactions between Islamic scholars in Southeast Asia and other regions such as the Middle East and South Asia were studied.

Field research in Southeast Asian countries such as Indonesia, Malaysia, and Singapore were conducted to investigate the impact of Islamic scholars who traveled abroad and became disciples of the prominent scholars in the Middle East and South Asia.

Rohingya Islamic scholars were also subject of this study. They historically migrated across South and Southeast Asia and transmitted Islamic knowledge.

研究分野：イスラーム研究

キーワード：イスラーム 東南アジア 中東 南アジア ロヒンギャ ウラマー スーフィズム デジタル人文学

1. 研究開始当初の背景

本研究以前に行ってきた研究では、東南アジアのイスラーム学者(ウラマー)がいかにして中東や南アジアから伝来したイスラーム法学を継承・発展させてきたか、が主要な研究テーマであった。具体的な研究対象としては、イスラーム諸学の文献、東南アジアのウラマーがムスリム社会の諸問題について出した教義回答(ファトワー)、その他に伝記や書簡といった史資料であった。また、東南アジアや中東で出されたファトワー(教義回答)や法学書、宗教詩などを読解、分析してきた。マレー語、インドネシア語、アラビア語の史料であり、東南アジアにおける近現代の社会問題について研究する史料として用いた。研究対象の中心となる時代は19世紀、20世紀であるが、17、18世紀についての研究も行ってきた。また、ウラマーのネットワークが東南アジアのムスリム社会に与えた影響や、東南アジアの政治や教育、難民問題との関りについても研究してきた。その研究は、単著『国家と対峙するイスラーム マレーシアにおけるイスラーム法学の展開』(2016年、作品社)などにまとめられている。

その研究を通して、東南アジアのムスリム社会におけるイスラームの理解には、地域にまたがった広範な研究が必要なことを認識した。東南アジアにおけるイスラーム法学とその多様性を理解するためには、中東、南アジアとの間でのウラマーのネットワークを研究することが不可欠である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、東南アジアで支配的なイスラーム法学派であるシャーフィイー派について、東南アジアにおける受容過程と独自性を明らかにすることである。シャーフィイー派が、東南アジアにどのように伝播してきたのか、どのように受容されてきたのか、その結果、東南アジアのシャーフィイー派がどのような独自の特徴を持つに至ったのかを解明する。受容および東南アジア独自の特徴の形成の主な要因としては、中東や南アジアといった他地域との歴史的交流の過程が考えられる。本研究では文献資料の分析を通してそれらの歴史的交流を研究する。

3 . 研究の方法

研究に用いられた史料は、これまで研究されていない史料が多く含まれている。また、東南アジア、中東、南アジアといった広範囲の史資料を総合的に研究対象とする。19 世紀、20 世紀は、交通・印刷・通信の技術が発展し、地域を越えた文化的影響と人の移動が増大した時代である。地域を越えたウラマーのネットワークと彼らが東南アジアのムスリム社会に与えた影響が、本研究の中心的な対象である。

中東および南アジアにおけるイスラーム諸学の中心地と東南アジアをつなぐウラマーのネットワークの研究を通して、東南アジアのムスリムが海外にある学びの中心地を拠点にして、近代国家の統制からは自律的なイスラーム法学の展開を実現してきた経緯を明らかにする。本研究では、中東や南アジアにある学びの中心地を拠点とするネットワークの変遷をアラビア語やジャウイの資料を用いて克明に調査する。

また、イスラーム学者（ウラマー）のネットワークに関する研究は、文献資料の収集、その資料を分析にかけてネットワーク分析やテキスト分析（データ・マイニング）を行う作業が必要である。いずれにおいても多くの研究者の参加を必要としており、国際的な共同研究が必要とされる。

4 . 研究成果

本研究では、東南アジアや中東、南アジアのイスラーム法学およびスーフイズムに関わる資料を収集し、読解、分析することで、地域を横断したイスラーム学者のネットワークの詳細を明らかにしてきた。

歴史を通して、地域を横断した師弟関係やテキスト間の影響が、東南アジアのイスラーム法学やスーフイズムなどの思想を発展させてきた過程を明らかにし、その研究成果は、日本語および英語の論文、著書、国内国外での学術会議で発表されてきた。

特に、2022 年度は、バングラデシュで現地調査を行うとともに、シンガポールやマレーシアで発表を行った。また、従来通りオンライン会議を活用して、インドネシアなどの研究者らとワークショップを 2 回開催した。

2022 年度が本研究の最終年度となる見込みであったが、今後なお研究課題について研究を続けていく必要があり、2023 年度とあわせてさらなる研究への準備をしていく期間ともなった。具体的には、国内および欧米、シンガポール、マレーシア、インドネシアなどの研究者との共同研究を通して、ウラマーの知的ネットワークに関する研究について発表し、同時に意見交換を行った。特に、シンガポール国立大学での研究発表（国際ワークショップ

"MALAY WORLD MANUSCRIPTS: MEDIUM AND METHOD IN DECENTRING DOMINANT NARRATIVES ")

は、東南アジアのイスラームの知的ネットワークに関する世界各国の主要な研究者が多数集まっており、貴重な情報交換を行う機会となった。この過程で、イスラームの知のネットワーク研究では、国際共同研究が重要であることがより鮮明になった。また、インドネシアのナフダトゥル・ウラマー大学の研究者、Ginanjar Sya'ban と 2 回のワークショップを行い、東南アジアと中東で横断的に活躍してきた 19 世紀から 20 世紀初期にかけてのウラマーと彼らの遺したテキスト資料によるネットワーク研究の可能性について検討した。

これらの研究成果は、今後も東南アジアのイスラームと、その他地域との歴史的な相関関係についての研究を発展させていくための準備となった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 Shiozaki Yuki	4. 巻 38
2. 論文標題 Ulama Network in Mecca: Some Problems of Empirical Study on Intellectual Transmission	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SIAS Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 54-60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 塩崎悠輝	4. 巻 93
2. 論文標題 書評「市岡卓著 『シンガポールのムスリム：宗教の管理と社会的包摂・排除』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 イスラム世界	6. 最初と最後の頁 85-90
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yuki Shiozaki	4. 巻 21
2. 論文標題 The Rise of the Deobandi School and Hadith Studies in Malaysia: Innovation of Sharia Interpretation through the Indian Connection	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Comparative Study of Southeast Asian Kitabs (5) (SIAS Working Paper Series 21)	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 塩崎悠輝	4. 巻 59
2. 論文標題 長縄宣博著『イスラームのロシア 帝国・宗教・公共圏 1905-1917ー』（書 評）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 96 - 99
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24765/ajikeizai.59.4_96	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 塩崎悠輝	4. 巻 30
2. 論文標題 マレーシアにおけるロヒンギャ難民と教育 公共的課題としての難民の社会統合	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SIAS Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 39 - 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Shiozaki	4. 巻 2
2. 論文標題 The Influence of the Muslim Brotherhood in Southeast Asia: The Islamic Party of Malaysia and the Prosperous Justice Party in Indonesia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SIAS Lectures	6. 最初と最後の頁 20-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Shiozaki	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 The Rise of the Deobandi School and Hadith Study in Malaysia: The Innovation of Sharia Interpretation through the Indian Connection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 SIAS Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 塩崎悠輝	4. 巻 91
2. 論文標題 書評と紹介 大川玲子著『チャムパ王国とイスラーム--カンボジアにおける難民のアイデンティティ』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 304 ~ 309
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20716/rsjars.91.2_304	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計16件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 7件）

1. 発表者名 塩崎悠輝
2. 発表標題 中東から東南アジアまで広がるロヒンギャの ネットワークと中継拠点としてのマレーシア
3. 学会等名 各国のロヒンギャ勉強会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Abdullah al-Zawawi as the transregional Spiritual Leader of the Naqsbandi Sufi Order: The Publication of Risala al-Fawaid al-Wafiyya fi Sharh Ma'na al-Tahiyya in Riau
3. 学会等名 Workshop "The Mufti of Mecca and Pontianak, Abdullah al-Zawawi: Networks and Manuscripts in the Arab Peninsula and the Southeast Asian Archipelago"
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Abdullah al-Zawawi 's Manuscripts and Diffusion of his Discourse in Southeast Asian Printed Media
3. 学会等名 MALAY WORLD MANUSCRIPTS: MEDIUM AND METHOD IN DECENTRING DOMINANT NARRATIVES
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Integration of Digital Skill Education with Human Sciences and Social Sciences Subjects: Digitalization of School Education in Japan and its Benefits
3. 学会等名 Joint Workshop: "Digital technologies for Islamic education and humanities research"
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shiozaki Yuki
2. 発表標題 History of Islamic Interaction and Indigenization in East Asia: Japan
3. 学会等名 TWMCC Webinar: Islam in East Asia: Interaction, Indigenization and Integration (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shiozaki Yuki
2. 発表標題 Empowerment of Muslim Higher Education in the Global Era
3. 学会等名 International Community Empowerment: Al-Qur 'an, Science and Islamic Education (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shiozaki Yuki
2. 発表標題 Ijazahs of Ulama from the Malay Peninsula: Knowledge Transfer and Sufi Orders
3. 学会等名 Visualization and Verification of Ulama Network in Southeast Asia: Ijazah and Silsila as Historical Materials (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 塩崎悠輝
2. 発表標題 マレーシアにおける『イスラーム国』支援者の背景：イスラーム運動の多様化と分断
3. 学会等名 東南アジア学会第101回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Citizenship and Faith in the Age of New Media: Japanese Experience
3. 学会等名 The Second TWMCC Conference "Building Future Leaders: Commitment, Integrity and Innovation" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩崎悠輝
2. 発表標題 「スーフィズムの世界観と近代における葛藤 マレー語スーフィー文学の変遷」
3. 学会等名 大阪経済法科大学哲学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Representations of Nur Muhammad (Light of Muhammad) and Sufistic worldview in modern Malay kitabs
3. 学会等名 Workshop on Comparative Study of Southeast Asian Kitabs: Concepts of the Hereafter (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Waqf for Education in Malaysian History: Pondok, Sekolah Agama, and Private Madrasa
3. 学会等名 International Conference on History and Governance of Awqaf in South and Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩崎悠輝
2. 発表標題 ロヒンギャ難民の再定住を考える マレーシアでロヒンギャ難民の受け入れは公共の問題となりうるか？
3. 学会等名 Sophia Open Research Weeks2018シンポジウム「ロヒンギャ難民をめぐる公共圏 - ビルマ、マレーシア、インドネシア、パキスタンにおける排除と包摂」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yuki Shiozaki
2. 発表標題 Interreligious Reconciliation in the East Asian Context: Minority Muslim Perspective toward Faith Alliance
3. 学会等名 International Conference and First Global Islamic Reconciliation Summit (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 塩崎悠輝
2. 発表標題 アブドゥルカーディル・アル＝マンディリのタウヒード論 東南アジアのムスリムによるワッハブ派神学への反応
3. 学会等名 第4回「東南アジアのキターブ比較研究」(2017年度第2回研究会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 塩崎悠輝
2. 発表標題 マレーシアにおけるロヒンギャ難民問題：難民の公共圏への参加のための諸課題
3. 学会等名 NIHU現代中東地域研究上智大学拠点<政治社会学班>ロヒンギャ難民問題に関する研究会第一回
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 Yuki Shiozaki	4. 発行年 2023年
2. 出版社 University of Hawai'i Press	5. 総ページ数 360
3. 書名 CoronAsur: Asian Religions in the Covidian Age	

1. 著者名 Yuki Shiozaki	4. 発行年 2024年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 343
3. 書名 Matrilineal, Matriarchal, and Matrifocal Islam: The World of Women-Centric Islam	

1. 著者名 塩崎悠輝	4. 発行年 2024年
2. 出版社 人文書院	5. 総ページ数 278
3. 書名 イスラーム・デジタル人文学	

1. 著者名 塩崎悠輝	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 748
3. 書名 イスラーム文化事典	

1. 著者名 塩崎悠輝	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 404
3. 書名 東南アジアのイスラームを知るための64章	

1. 著者名 アブドゥルハミード・アブー・スライマーン、塩崎悠輝	4. 発行年 2017年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 320
3. 書名 クルアーン的世界観 近代をイスラームと共存させるために	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>静岡県立大学教員データベース https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-shiozakiyuki.html 教員情報詳細 https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-shiozakiyuki.html 静岡県立大学教員データベース https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-shiozakiyuki.html 静岡県立大学教員データベース https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-shiozakiyuki.html 塩崎悠輝の研究：イスラーム法と東南アジア http://www.shiozakiyuki.net/ 静岡県立大学教員データベース https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-shiozakiyuki.html 塩崎悠輝の研究：イスラーム法と東南アジア http://www.shiozakiyuki.net/ SHIOZAKI, Yuki - University of Shizuoka https://eng.u-shizuoka-ken.ac.jp/media/i-shiozakiyuki201904.pdf</p>
--

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 Workshop “The Mufti of Mecca and Pontianak, Abdullah al-Zawawi: Networks and Manuscripts in the Arab Peninsula and the Southeast Asian Archipelago”	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 Joint Workshop: “Digital technologies for Islamic education and humanities research”	開催年 2022年～2022年

国際研究集会 Visualization and Verification of Ulama Network in Southeast Asia: Ijazah and Silsila as Historical Materials	開催年 2021年～2021年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------